

原子力に関する学びの機会の創出について

福島第一原子力発電所事故は、これまでの原発安全神話を根底から崩し、原子力発電所の安全対策、発災時の放射能問題やエネルギー政策、そして地域の再生に向けて大きな課題を投げかけています。

市では、市民を対象とした講演会の開催や原子力冊子の配布などにより、原子力などに関する学びの機会の創出を図っています。

1 講演会について

(1) 第1回（実施済）

- ・日 時 10月4日（木） 午後7時から午後8時30分まで
- ・内 容 放射能から身を守るために
- ・場 所 相良公民館
- ・講 師 野口邦和 氏（日本大学准教授）

(2) 第2回

- ・日 時 11月21日（水） 午後6時30分から午後8時30分まで
- ・内 容 エネルギーシフトへの道筋
- ・場 所 い〜ら
- ・講 師 飯田哲也 氏（環境エネルギー政策研究所所長）

(3) 第3回

本年度中に実施予定。

2 原子力冊子の発行について

市では、福島第一原子力発電所事故の状況や電力の需給状況等を見やすく、分かりやすくまとめた「原子力冊子」の作成を進めています。

(1) 概要

ア 規格

A4版、4色刷、24ページ

イ 掲載内容

福島第一原子力発電所の事故を受けて、浜岡原子力発電所の今後について、電力の状況について、これからのエネルギーについて など。

(2) 発行予定

11月中を目途に、市内全戸に配付する予定です。